

(様式 2)

議事録番号

提出 2014 年 2 月 4 日

会合議事録

研究会名：軟 X 線光化学研究会

日 時：2 月 1 日 (土) 9:00-12:15

場 所：中央管理棟 1F 上坪講堂

出席者：齋藤則生、本村幸治、永谷清信、田中健一郎、鈴木功、彦坂泰正、徳島高、下條竜夫、吉田啓晃、金島岳、James Harries、大浦正樹、仙波 泰徳、為則雄祐、岩山洋士

計 15 名

議題：各会員により研究の紹介および今後の研究会について

議事内容：まず会長の齋藤則生氏より軟 X 線光化学研究会についての歴史の紹介があった。その後、各会員の研究の紹介を行った。

まず、X 線自由電子レーザーを使った研究についての紹介を 3 つ行った。齋藤則生氏から常温カロリメータを用いた XFEL の強度測定に関する研究の紹介があった。次に、本村幸治氏は SACLA における原子・分子の多重イオン化実験の結果について詳細に説明した。また、永谷清信氏は SCSS 試験加速器による希ガスクラスタからのナノプラズマ生成とダイナミクスについて紹介した。

次に電子分光研究に関する研究についての紹介が 3 つあった。鈴木功氏は気相分子の SiKLL 共鳴オージェ電子スペクトルにおける励起軌道依存性、およびサイト依存性について詳細に検討した結果を示した。岩山洋士氏はオージェ電子・イオン同期計測による内殻励起した分子の研究について紹介した。また、彦坂泰正氏は、磁気ボトル型電子分析器を用いた原子の多光子過程の研究について紹介した。

その後液体・溶液研究に関する紹介があった。徳島高氏は BL17SU における軟 X 線分光による液体、溶液の研究について紹介した。また、下條竜夫氏は超音波霧化装置の放射光への応用について話した。

最後に今後の軟 X 線光化学研究会について議論し、研究会を終了した。

軟X線光化学研究会プログラム

2月1日(土)

場所：中央管理棟 1F 上坪講堂

オープニング

9:00 齋藤則生(産総研) 軟X線光化学研究会について

X線自由電子レーザーをつかった研究(座長 田中健一郎)

9:05 齋藤則生(産総研) 常温カロリメータを用いたXFELの強度測定

9:25 本村幸治(東北大) SACLAにおける原子・分子の多重イオン化実験

9:45 永谷清信(京都大) SCSS試験加速器による希ガスクラスタからの
ナノプラズマ生成とダイナミクス

電子分光研究(座長 下條竜夫)

10:05 鈴木 功(高工研/産総研) 気相分子のSiKLL共鳴オージェ電子スペクトルにおける励起軌道依存性、およびサイト依存性

10:25-10:40 休憩

10:40 岩山洋士(分子研) オージェ電子・イオン同期計測による内殻励起した分子の研究

11:00 彦坂泰正(新潟大) 磁気ボトル型電子分析器を用いた原子の多光子過程の研究

液体・溶液研究(座長 齋藤則生)

11:20 徳島 高(理研) BL17SUにおける軟X線分光による液体、溶液の研究

11:40 下條竜夫(兵庫県大) 超音波霧化装置の放射光への応用

12:00-12:10 議論(今後の軟X線光化学研究会について)

解散

13:15~ SPring-8 利用ワークショップ